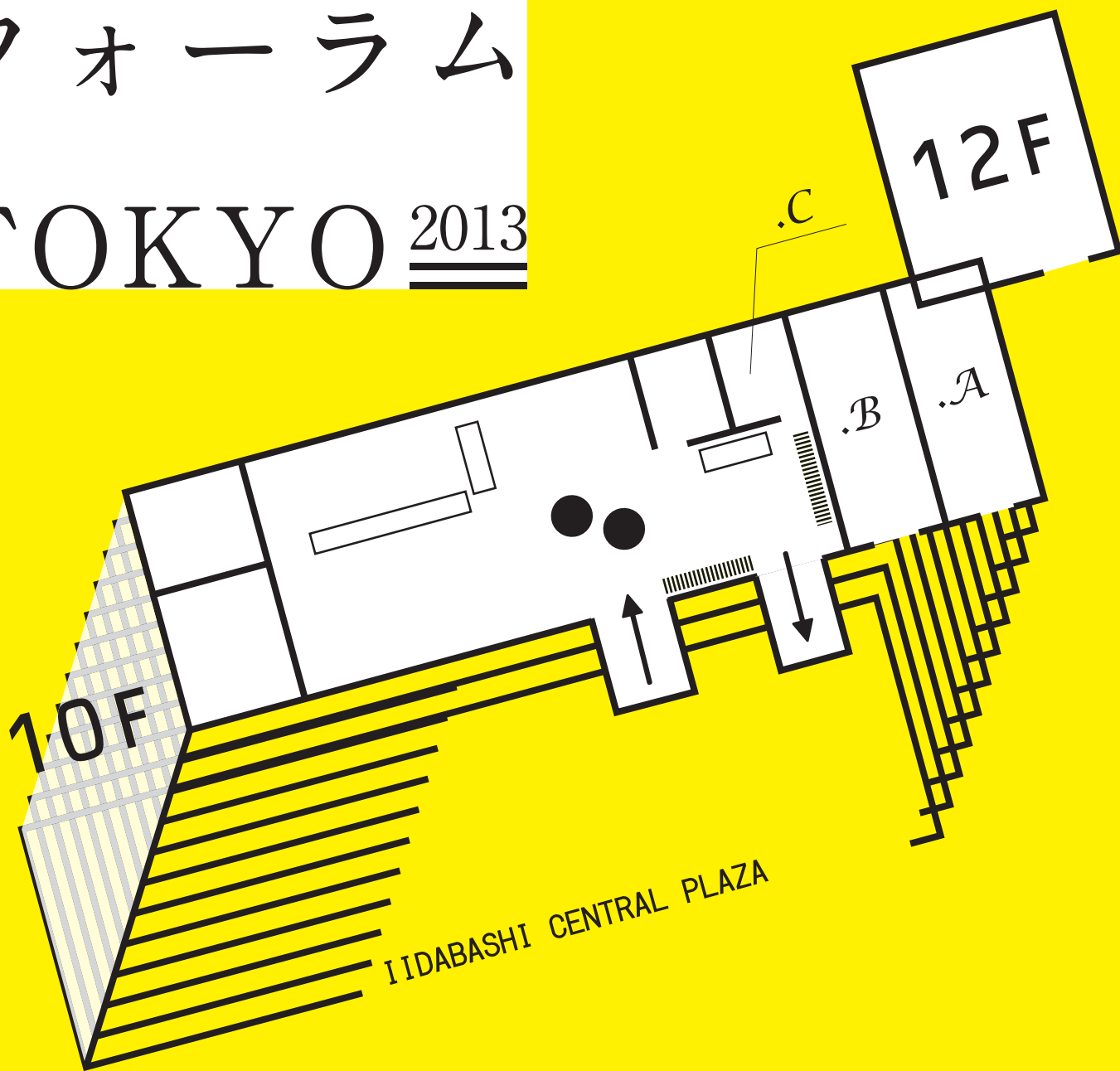


市民社会をつくる

ボランティア
フォーラム
TOKYO 2013



わたしたちのちから

試される市民力

2013年2月8日(金)~10日(日)

場所：飯田橋セントラルプラザ ほか

東京ボランティア・市民活動センター
TEL:03-3235-1171
FAX:03-3235-0050
<http://www.tvac.or.jp>

主催：東京ボランティア・市民活動センター
企画運営：市民社会をつくるボランティア
フォーラム TOKYO 2013 実行委員会
後援：東京都

市民社会をつくる

ボランティアフォーラム TOKYO²⁰¹³ 趣旨文

ボランティア活動や市民活動に関心のある方々、また、実際に取り組んでいる方々を対象に、「市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2013」を開催いたします。

今年で9回目を迎える「ボランティアフォーラム」は、東京ボランティア・市民活動センターが主催し、たくさんの団体が集まる実行委員会が企画・運営を担っています。昨年は「第20回全国ボランティアフェスティバルTOKYO」として開催しました。人と人のつながりが希薄になり、社会課題がより多様化・複雑化している現在、多くの人が、将来に対する不安を抱えながら暮らしているのではないのでしょうか。そのため、個別の課題やニーズに柔軟に対応できるボランティア活動や市民活動への期待は高まっています。

また、2011年から、新しい公共支援事業も展開され、公共サービスの担い手が、官から民へとシフトしていく流れの中で、NPOの役割はますます期待されています。しかし、ボランティア活動や市民活動の社会的基盤はまだまだ脆弱です。2011年3月11日に起こった「東日本大震災」は、毎日の暮らしに、あらためて課題を提起したのではないのでしょうか。そして、「私は、自分らしく、社会とどう関わっていけばよいのか?」と模索する人々が増えています。

「市民の力」への関心が高まっている今、活動が継続して取り組まれるよう、また、形骸化してしまわないよう、「市民力」が厳しく試されている時と言えるのです。

今回のフォーラムは、「試される市民力^{わたしたちのちから}」をテーマにします。このテーマのもと、「つながり」「生活・くらし」「若者の市民力」「ボランティアリズム」と4つのカテゴリーを設け、それぞれ複数の分科会で構成しました。参加者のみなさんの声や考えを大切に、誰もが参加できる“市民活動”“市民社会”を考える機会にしていきたいと考えています。たくさんの方の参加をお願いします。

2月8日	夜間	31 企業&NPO&大学& ボランティアのつどい 19:00-21:00	15 ソーシャルメディアで 始める社会貢献 19:00-21:00	1 つながりCafé 19:00-21:00					
	午前1	28 オープニング全体会 試される市民力 9:00-9:45							
2月9日	午前2	16 学生が 地域を変える!? 10:00-12:30	7 カテゴリー 「生活・くらし」 ～プロローグ～ 11:30-12:30	2 「つながり」を 発見! 10:00-12:30	23 NPOは サービス提供を超えて 社会を変えられるのか? 10:00-12:00	32 そうだったのか! よくわかる中間支援組織 10:00-12:30			
	午後	17 震災 学生ボランティア 交流会 15:00-20:00	24 共生社会をつくる 13:30-16:00	3 私の子育て= みんなで子育て 14:00-16:30	8 輝く暮らしのために 13:30-15:45	9 患者が先生 13:30-16:30	33 今日から実践!中間支援のコツ 13:30-17:00		
2月10日	夜間		4 「つながり」の “ちから”を お裾分け 17:00-19:00	10 児童養護施設 からの声 17:00-19:30	11 多様化する 社会における 「子どもの学習」 16:30-19:30				
	午前	26 ボランティア 活動が生み出す 効果・意義を 可視化する 10:00-16:00	18 NPO インターンシップ 10:00-12:00	19 中学生の発信力 9:30-12:00	5 子どもの つながる力 10:00-12:00	12 新しい働き方 10:00-12:00	13 コミュニティ ガーデンづくり 10:00-12:00		
2月10日	午後1		20 働く場としての NPO 13:00-16:00	21 高校生の発信力 13:00-16:00	22 ソーシャルメディアで 始める社会貢献 13:00-16:00	14 カテゴリー 「生活・くらし」 ～エピソード～ 13:00-16:00	6 見つけよう 新しいつながり 13:30-16:00	27 地域で信頼され、 活躍するための 10ヶ条 13:00-16:00	25 その時 歴史を動かした! 13:30-16:00
	午後2	29 クロージング全体会 16:30-18:00							
夜間	30 交流会 18:15-								

- 34「視覚障害をもつ子どもたちの絵画展」(9、10日)、
- 36「OpenCafe」(9日11:00～17:00)、
- 37「『想いをかたちに』出会いの広場」(9、10日11:30～13:30)は、セントラルプラザ10階ロビーにて開催予定です。
- 35「ふれあい満点市場」(9日10:00～17:00)は、セントラルプラザ1階区境ホールにて開催予定です。

1 category.

つながり

～手を取り合う社会を目指して～



東日本大震災以降、「絆」や「つながり」が見直されています。

しかし、孤立や孤独から起きてくる社会問題は、後を絶ちません。また、「つながりは見えにくい」、「つながりをどうつくったら良いかわからない」という声も聞こえてきます。

実際、私達はどれだけつながりを持っているのでしょうか。

昔からのつながり、新しいつながり、サービスとしてのつながり、創るつながり・・・多様化しているのが現状です。

そこで今、「つながり」の価値をみなさんと一緒に考えたいと思います。

カテゴリー「つながり」～プロローグ～

つながり Cafe

～ワールドカフェで話そう～

ワールド
カフェ
方式

日常の中で、私たちはどれだけ他人とつながっているのでしょうか。また、つながろうと思っているのでしょうか。先行き不透明な社会の中で「個の力を強めて社会を乗り切る」というまなざしが多くを占めていて、むしろ他人と手を取り合おうと思うことが少なくなっているのでしょうか。つながりたいと思った時に、誰かとつながれる社会にするには何が必要か？つながりはどんな意味を持つのか？参加者同士で語り合い、共有しましょう！きっと他の分科会にも”つながる”はずですよ。

日時：2月8日（金）19：00～21：00

定員：20名 対象：関心のある方ならどなたでも
ワールドカフェ方式とは、リラックスした雰囲気の中、少人数に分けたテーブルで自由な対話を行い、ときどき他のテーブルのメンバーとシャッフルして対話を続けながら、参加する全員の意見等が聞ける方法です。

「つながり」を発見！

～たまり場・居場所・“みんなの縁側”を考えよう～

講義
+
話し合い

わたしたちの身近な地域にはさまざまな人が暮らしています。高齢の方、障害のある方、大人、子ども、若者…。その誰もが安心・安全に暮らしていくために必要なことは、地域での自然なつながりを創っていくことではないでしょうか。誰もが気軽に集い交流し、ちょっとした顔見知りになる…。身近にそんな出会いの場があったら、人はもっとつながれるのかもしれない。この分科会では、そんな温かい交流の場を提供している事例を紹介しながら、地域でのつながりづくりについて考えます。

日時：2月9日（土）10：00～12：30

定員：30名
出演：誰でも気軽に参加できる居場所作りを実践されている方
対象：関心のある方ならどなたでも

私の子育て＝みんなで子育て

講義
+
話し合い

「子どもを育てること」には当然ながら親に責任があります。しかし、子育てはその親だけの問題ではなく、社会全体が子育ての責任を負う必要があります。それは決して「子育てのアウトソーシング」という意味ではなく「親世代だけでなく、同世代の友人や会社の同僚に始まり、近所のおじちゃん・おばちゃん、地域のお店の店員さんに至るまで、とにかく社会全体が何らかの子育てに関わる」ということです。

そんな地域が身近にあったら、つながりのある素敵な社会になるとと思いませんか？いろいろな人が子どもに気を配れる社会を目指して、一緒に考えてみましょう。

日時：2月9日（土）14：00～16：30

定員：20名
出演：調整中
対象：関心のある方ならどなたでも

「つながり」の“ちから”をお裾分け！

～気仙沼からのメッセージ～

講義
+
話し合い

いざというときに、助け合いながら困難を乗り越えていくための、“大きなちから”となるもの……。それは地域でのつながりではないでしょうか。東日本大震災では、震災直後の助け合いや自治会主体での避難所運営など、地域のつながりが大きな役割を果たしました。今、わたしたちの身近での地域づくりやつながりづくりがあらためて見直されています。被災地気仙沼での地域活動の様子を伺いながら、わたしたちが明日から日常的に取り組めることを考え、日々の行動に活かしていくための分科会です。

日時：2月9日（土）17：00～19：00

出演：笠原一城さん（公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会 気仙沼事務所 プロジェクト担当） 定員：30名
対象：防災、減災に関心のある方、地域づくり、つながりづくりに関心のある方ならどなたでも

子どものつながる力

講義
+
話し合い

～遊びを通して～

子どもたちの「遊び」のスタイル（トレーディングカードやゲームなど）は時代と共に変化しています。

「遊び」を視点として、子ども同士のつながりの変化を見ていきます。

「つながれる遊び」を実感するためのワークショップで、参加者同士で遊び合しましょう。「遊び」を通して感じたことを共有し、子どもたちのつながる力について話し合しましょう。

5

日時：2月10日（日）10：00～12：00

定員：20名

出演：安藤耕司さん（篠原学園専門学校）

対象：子育て中の方、子どもに関連のある取り組みをされている方、遊びに関心のある方

見つけよう新しいつながり

講義
+
話し合い

～地域で支える介護～

離れて暮らす親子の間に浮上する「介護」の問題。親には親の、子どもには子どもの、それぞれの暮らしがあるので、簡単には解決できない課題が多いものです。親も子も安心して暮らすためにはどうすれば良いのでしょうか？

「家族じゃなくても支えられる、支え合える」、そんな家族によらない暮らし、新しいつながりについてみんなで考えます。

6

日時：2月10日（日）13：30～16：00

定員：30名

出演：調整中

対象：介護中の方・介護に関心のある方に関わらずどなたでも

2 category.

生活・暮らし

～多様性を受け入れる社会～



人は誰でも等しく地域に暮らす「生活者」です。そして、誰もがなんらかの暮らしづらさを抱えています。

その誰かが周囲の助けを必要とする時、解決や支援にかかわる人は、その人のもつ個別の課題にとどまらず、暮らし全体や社会の中での位置づけを視野に入れ、丁寧に繙いていかねばなりません。

このカテゴリーでは本人の語りを大切に、貧困・環境・医療・働き方などで困難を抱えた人たちの暮らしをたどります。

そして多様性を受け入れる社会の形成に向けて、私たち市民の力をどう生かせるのか、参加者のみなさんと一緒に考えたいと思います。

カテゴリー「生活・暮らし」～プロローグ～

「18才の春」

女子高校生ミンソセイに聞く

各分科会
担当者から
聞き語り

ミンソセイさんは、高校3年生の春、大学受験に挑みました。外国籍の母と二人、日本に生まれ育ちましたが、小学5年生のとき母が入国管理局に収容されました。同時にソセイさんは児童相談所や「里親」に措置されます。母が戻ってからも、仕事を失った母とともに生活保護を受給しながら生活してきました。

3日間のフォーラムを通して企画されている「生活・暮らし」カテゴリーの各分科会担当者が、それぞれの企画の想いを込めて、ソセイさんに語りかけます。

日時：2月9日（土）11：30～12：30

定員：30名

出演：ミンソセイさん本人と、各分科会担当者

対象：「生活・暮らし」カテゴリーに参加予定の方

輝く暮らしのために

講義
+
話し合い

～生活の「多重困難」を「豊かさ」に変える市民力～
ミンソセイ母子を迎えて

「外国籍」「母子家庭」「生活保護」…ソセイさんの母・スージーさんは様々な「生活困難」と向き合いながら子育てをし、ソセイさんの夢の一つだった大学進学を迎えることとなりました。生活困難＝「貧困状態」ではありません。多様な生活困難を乗り越えればこそ多様な地域住民が関わり生活が支えられる様子は「豊かさ」そのもののようには輝いています。世間では声高に「生活保護バッシング」やそれに押しやられるかたちで制度の改変が語られようとしています。当事者やそこに関わる人間関係・地域コミュニティの「豊かさ」のありようとは何か。私たち市民が描き出していくときではないでしょうか。

日時：2月9日（土）13：30～15：45

定員：30名 出演：ミンソセイさんとその母スージーさん

対象：マクロな制度・政策論として語られがちな「社会保障」のあり方を、住民・市民のリアルな生活のなかから見直してみたい方など

患者が先生

講義
+
話し合い

～よりよい医療のコミュニケーションに向けて～

第20回ボランティア・フェスティバルで実施し、好評を博した分科会「患者が先生」の第2弾。(第1弾に参加していない方も歓迎)

医療は、医師がする側、患者がされる側という概念を見直し、当事者の参加こそが、治療や患者のクオリティオブライフに欠かせないのではないか。群馬大学医学部で長年行われている「患者講師による授業」を話題提供に、コミュニケーションの重要性について参加者と語り合う。誰もが当事者になりうる課題について、参加者と一緒に考えます。

日時：2月9日(土) 13:30-16:30

定員：30名 出演：酒巻哲夫さん(群馬大学医学部)
患者講師 加納貞彦さん、大木里美さん、林田素美さん、野村美恵子さん、竹沢弘子さん
対象：関心のある方ならどなたでも

児童養護施設からの声

講義
+
話し合い

～子どもたち、支援員、地域の人々、それぞれの「ものさし」～

自分の歩む道に、突然「児童養護施設」という通過点が組み込まれたら…それは人生を左右する大きな出来事になります。しかし児童養護施設はあくまで人生の「通過点」であり、子どもたちは、いずれ地域に出ていかなければなりません。

児童養護施設とはどのようなところか、今抱えている課題は何か、子どもたちから届いた声をもとに、支援員、地域の人たち、それぞれの「ものさし」を照らし合わせながら、市民としてできることを考えたいと思います。

日時：2月9日(土) 17:00-19:30

定員：30名
出演：児童養護施設支援員、その他支援に関わる人たち
対象：関心のある方ならどなたでも

多様化する社会における「子どもの学習」

講義
+
話し合い

～貧困・外国籍・障がい・etc...～

貧困・外国籍・障がい・etc...、さまざまなことを理由に学習する機会を失っている子どもがいます。

制度では支えきれない、制度では追いつかない狭間にいる現代社会の子どもたちが、学習の機会を得られないことで、これから歩む人生の道を狭めてしまうのではないのでしょうか？

そこで、この分科会では子どもの学習の大切さを改めて考えるとともに実際に子どもの学習の場や仕組みをつくることに取り組んでいる方からお話を聞き、市民に何が出来るかを考えます。

日時：2月9日(土) 16:30-19:30

定員：30名
出演：滝口仁さん(ひの子ども支援塾代表)他
対象：学習支援団体、教員、行政職員、関心がある方

新しい働き方の形

講義
+
話し合い

～働きながら憩う～

働くということ、それは社会や地域、いろんな人とつながるということ。

障害の有無にかかわらず、その人にあった形で働ける仕組みについて考えてみませんか？

人は誰でも自分のことを認めてほしいと思っています。お互いを認め、自分と違うことを受け入れる、そんな社会を市民力で作っていきましょう。

日時：2月10日(日) 10:00-12:00

定員：30名
出演：今井忠さん(NPO法人東京都自閉症協会理事長・社団法人日本発達障害福祉連盟理事)
対象：障害者福祉に携わっている方、その他どなたでも

コミュニティガーデンづくり

講義
+
話し合い

～仲間と共に楽しむ地域の庭～

各地域でコミュニティガーデンづくりが進められています。コミュニティガーデンとは、地域の人々がつくる公共の花壇・庭です。コミュニティガーデンは、希薄になった地域のつながりを再生し、また、少なくなったみどりを再生するなど、さまざまな効果があります。

当分科会では、各地で行われているコミュニティガーデンづくりの事例を学び、参加者とともにコミュニティガーデンの新しい可能性について考えます。

日時：2月10日(日) 10:00-12:00

定員：30名
出演：NPO法人 birth
対象：花壇やみどりを通したまちづくりに興味のある方

カテゴリー「生活・暮らし」～エピソード～

多様性を受け入れる豊かな地域づくり

講義
+
話し合い

生活・暮らしカテゴリーでは、貧困・教育・外国籍・環境など様々な課題を取り上げました。個別のテーマについては関心や接点がないと思う人も、当事者が持つ別の側面では関係者となりうるかもしれません。

様々な側面が複合されて「暮らし」は成り立っている。全分科会を振り返りながら、「多様性を受け入れる豊かな地域づくり」について参加者みんなで考えましょう。分科会には不参加だった方も歓迎です。

日時：2月10日(日) 13:00-16:00

定員：30名
出演：生活と暮らしカテゴリー担当者(実行委員)
対象：関心のある方どなたでも

3 category.

若者の市民力

～新しい担い手として～



経験や知識の少ない若者たちは地域で「育てられる」存在にすぎないのでしょうか。

東日本大震災以後、多くの若者が自分にできることを模索しながら、ボランティア活動に参加したり、新しい活動を生み出したりしてきました。様々な課題を抱える地域社会において、つながりの重要性が再認識されるなか、ひとりの「市民」として、若者が果たせる役割があるのではないのでしょうか。

このカテゴリーでは、これからの社会を担う若者たちに「試される力」について、生徒や学生、若手の社会人まで様々な切り口で、皆さんと一緒に考えます。

ソーシャルメディアで始める社会貢献

ワールド
カフェ
方式

～PDCA サイクルを回す Plan 編～

皆さんが使っている Facebook、twitter、mixi などのソーシャルメディアで、社会貢献ができるとしたら？
この分科会は 2 月 10 日 13 時からの分科会番号 22 「ソーシャルメディアではじめる社会貢献～PDCA サイクルを回す Check・Act 編～」とセットで申し込まれ、ボランティアフォーラムの他の分科会に参加されることにより、効果的な社会貢献を実践していきます（この分科会単独の申し込みも大歓迎です。）

日時：2月8日(金) 19:00-21:00

定員：30名

出演：NPO コミュニケーション支援機構（略称 a-con）

対象：Facebook、twitter、mixi が好きな人、これから社会貢献していきたい人、広報・PR に興味がある人

学生が地域を変える!?

講義
+
話し合い

～大学/大学生の力を生かした地域づくり～

地域の課題解決に答えきれていない大学…地元で大学があるのに、中々上手く連携できていない地域…大学での学びが実践とつながらず、地域と乖離する学生…そんななか、学生、そして大学がその強みを活かして積極的に地域に関わることで、地域がもっとおもしろい場になり、学生の実践力にもつながっていく。そんな事例が増えてきています。この分科会では、実際に、大学や大学生が地域に入った事例を紹介したあと、参加者の皆さんが関わる大学や地域でどんな取り組みができるか、また、実現のためにすべきことについて、一緒に考えます。

日時：2月9日(土) 10:00-12:30

定員：30名 出演：地域で活動している学生や教員、大学ボランティアセンター職員等（調整中）

対象：大学ボランティアセンター等職員、地域で活動する学生や、大学とつながりたい地域の方など

震災学生ボランティア交流会

展示
+
交流会

わたしたちのちから
～つなげよう！ 学生力～

東日本大震災の復興が進むにつれ支援の場や内容が変化してきています。復興支援に携わってきた学生団体などは、その変化に対応できずこれからの活動に不安を感じてきています。また卒業や進級による世代交代など学生団体特有の悩みを抱えている団体も多いのではないのでしょうか。

そこで学生団体同士の繋がりをつくり悩みの共有・解決に加え、これを機に交流の場を継続して持てるきっかけをつくる分科会です。

※15:00-18:00 まで行われる展示は、申し込み者以外の方でもご参加いただけます

日時：2月9日(土) 15:00-18:00 展示

18:00-20:00 交流会

定員：80名

対象：震災ボランティアに関わっている（関わりたい）学生

NPO インターンシップ

講義
+
話し合い

～若者の市民力を育む場として～

NPO の社会的認知は、震災以後一層広がり、働く場としての選択肢としても考えられるようになってきています。NPO で中長期に渡り、インターンシップを受け入れる事例も増えてきており、市民社会に関わる若者にとつての学びの場としても注目されてきています。

この分科会では、NPO インターンシップに関わる多様な立場から、その効果と課題について検討し、若者の市民社会との関わりや、自身の進路を切り拓いていくための場として必要なことについて考えます。

日時：2月10日(日) 10:00-12:00

定員：30名

対象：関心のある方ならどなたでも

分科会 20 「働く場としての NPO」との連続参加をおすすめします

中学生の発信力

講義
+
話し合い

練馬区立開進第二中学校の2年生は、「総合的な学習の時間」で、「福祉とボランティア」をテーマにした学習と体験活動に、約20の団体・NPOの協力を得て、取り組んだ。

あるグループは、NPOが使う大腸がん予防啓発のポスターを制作した。

このような中学生の発信力とその可能性を皆さんと考えませんか。

日時：2月10日(日) 9:30-12:00

定員：30名

出演：練馬区立開進第二中学校第2学年生徒28名・保護者・教員・コリアNGOセンター・練馬区聴覚障害者協会・セカンドハーベストジャパン・プレイブサークル運営委員会

対象：中学生、保護者、その他教育関係者、関心ある方

働く場としてのNPO

講義
+
話し合い

近年、NPOで働くことが学生の間でも就職の選択肢として認識され、NPOでの職務経験を一つのキャリアと捉える動きが出てきています。

ですが、いざ働こうと思っても“生活していけるのか”、“周囲からの理解が得られない”といった不安をよく耳にします。

この分科会ではNPO職員を交え、働く場としてのNPOについて身近に見聞きし、様々な視点からNPOで働く若者のキャリアデザインについて考えます。

日時：2月10日(日) 13:00-16:00

定員：30名

対象：関心のある方ならどなたでも

分科会18「NPOインターンシップ」との連続参加をおすすめします

高校生の発信力

講義
+
話し合い

ダンス
ワークショップ

高校生や若者の自由な発想で取り組んだボランティア活動や社会課題への思いと気づきを発信する分科会です。

出演者の活動発表に、参加者も参加し、学び合える場をつくっていきます。あふれるエネルギーとともに若者たちが自ら伝えるメッセージを参加者も身体を動かして受け止めてみませんか。

日時：2月10日(日) 13:00-16:00

定員：30名

出演：「地域ネコ」活動広報映像を制作した都立新宿山吹高校生/ユース記者に応募し、東京都社会福祉協議会発行の福祉広報<特別号>を編集した高校生/NPO法人「みんなのおうち」と「しんじゅくアートプロジェクト」を中心に、写真やダンス活動をする若者たち

対象：関心のある方ならどなたでも

ソーシャルメディアで始める社会貢献

ワールド
カフェ
方式

～PDCAサイクルを回す Check・Act編～

皆さんが使っているFacebook、twitter、mixiなどのソーシャルメディアで、社会貢献ができるとしたら？

この分科会は2月8日19時から分科会番号15「ソーシャルメディアではじめる社会貢献～PDCAサイクルを回す Plan編～」とセットで申し込まれ、ボランティアフォーラムの他の分科会に参加されることにより、効果的な社会貢献を実践していきます(この分科会単独の申し込みも大歓迎です。)

日時：2月10日(日) 13:00-16:00

定員：30名

出演：NPOコミュニケーション支援機構(略称a-con)

対象：Facebook、twitter、mixiが好きな人、これから社会貢献していきたい人、広報・PRに興味がある人

ワールド
カフェ
方式

ワールドカフェ方式って？

リラックスした雰囲気の中、少人数に分けたテーブルで自由な対話を行い、

ときどき他のテーブルのメンバーとシャッフルして対話を続けながら、

参加する全員の意見等が聞ける方法です。

4 category.

ボランティアリズム

～わたしたちの意志が支える社会～



暮らしの中での不安や制度の行き詰まり、複雑化・多様化する社会ニーズや課題に対して、政府や政治も、十分な施策をだせない状況にあります。

こんな時代こそ、^{わたしたち}市民が自ら意志をもって、認め合い、支え合い、行動していかなければなりません。

この行動の原点である「ボランティア」のあり方について、様々な事例や議論を通して、共に確認し合い、更なる可能性や広がりについて考えます。

NPOはサービス提供を超えて社会を変えられるのか？

～委託時代のNPOのあり方を考える～

講義 + 話し合い

NPOの数は増え、地域においては、指定管理をはじめとした様々な公共サービスを担っています。しかし、その仕事に忙殺されるあまり、本来行うべき活動が、おろそかになっていることはないでしょうか？一方、行政の委託が切れてしまえば、人の雇用は難しく、活動を行うことも難しいという現実もあります。この分科会では、NPOが公共サービスの担い手を超え、社会変革の担い手となるために必要なことや課題について考えます。

日時：2月9日(土) 10:00-12:00

定員：30名 出演：杉澤幹生さん(NPO法人支援機構すぎなみ事務局長・NPO法人杉並アヤックスサッカークラブ理事長) 他
対象：指定管理など行政から委託を受けているNPO関係者、市民活動に関心のある方

共生社会をつくる

～ボランティアとソーシャルインクルージョン～

講義 + 話し合い

ボランティアへの活動希望の相談がたくさん届いています。しかし、本人自身が、コミュニケーションが苦手だったり、悩みを抱えたりしているケースでは、活動中にトラブルが起こったりすることもあり、受入を断られることや継続しないことも多くみられます。一方で、その人にとっては、ボランティア活動が社会への参加の一步だったり、居場所であったりすることもあります。そのような課題を抱える人たちが、ボランティアに参加することを、どのようにとらえて、考えていかなければいけないのかということを議論していきます。

日時：2月9日(土) 13:30-16:00

定員：30名 出演：辻浩さん(日本社会事業大学社会福祉学部教授) ボランティアコーディネーターの方
対象：テーマに関心のある方

その時歴史を動かした！

～日本におけるボランティアの歴史からボランティアリズムを考える～

鼎談

以前に増して、「ボランティア」という言葉を聞く機会は増え、広がりが生まれている一方で、本来の「ボランティア」とはどのようなものが見えづらくなってきてはいないでしょうか？この分科会では、どのようにボランティア・市民活動が発展してきたのか、日本におけるボランティアの歴史から、「ボランティア」という生き方と行為がいかに重要であるか、真のボランティアリズムについて考えてみたいと思います。日本を代表する東西の民間ボランティア推進機関のキーパーソンを招き、ボランティアの歴史が動いたターニングポイントにおいて、各時代で大切にされてきたボランティアの価値は何か、そのとき市民は歴史をどう動かしたのかを振り返ることにより、改めてボランティアの本質を考えます。

日時：2月10日(日) 13:30-16:00

定員：30名 出演：早瀬昇さん(大阪ボランティア協会常務理事) 枝見太朗さん(富士福祉事業団理事長) 坂巻照さん(毎日新聞社名誉職員/淑徳大学名誉教授/社会福祉法人潤沢会理事長)
対象：テーマに関心のある方などでも

ボランティア活動が生み出す効果・意義を可視化する

～災害から日常にボランティア活動をつなぐために～

講義 + 話し合い

東日本大震災の被災地では、復旧・復興に向けた様々な取り組みに多くのボランティアが参加しています。一方で、ボランティアセンター等においては、災害ボランティアをきっかけにボランティアの登録数は増えたものの、日常的な地域のボランティア活動にはつながっていないという声も聞かれます。そこで、この分科会ではボランティア活動が生み出す「伝えない価値」を見えるようにするためのツールを用いて、災害ボランティアの効果・意義を多角的に捉え、災害と日常のボランティア活動をつなげるために必要な視点や取り組みについて考えます。

日時：2月10日(日) 10:00-16:00

定員：30名 出演：村上徹也さん(市民社会コンサルタント・日本福祉大学教授)、地域防災の取り組みを行なっている組織の方
協力：ボランティア活動が生み出す効果・意義を可視化する研究会
対象：ボランティアセンター等の中間支援組織のボランティアコーディネーター、ボランティアを受け入れている組織・団体の受入担当者、ボランティアグループのリーダー、ボランティア活動者など

～個人・団体が輝くために～

「NPO 法人の活動やボランティアに関心がある。でも何から始めたらいいかわからない」「思うように団体の活動ができていない」「コミュニティビジネスってどう始めるのだろう」。ネットや書籍を探しても現実に通用するマニュアルや法則はありません。本当の成功事例は、自分で考え工夫していくこと！

キャリアや経験を活かしつつ、地域社会に参加し、課題解決に取り組むためには、社会の課題を知ることが大切です。各地の実践事例を講師から学び、自らが出来ることを一緒に考えてみませんか。

日時：2月10日(日) 13:00-16:00

定員：30名 出演：堀池喜一郎さん(好齢ビジネスパートナーズ世話人 シニアの地域参加指南 現役プロフェッショナル地域参加カフェ)

対象：退職して地域のため何かしたい人、自分が発信して地域とつながりたい人既存の地域団体に入るか、自分で始めるか迷っている人、活動を無償ではなく、持ち出しのないようにするには・・・という人

全体・特別 プログラム

オープニング全体会

わたしたちのちから
「試される市民力」

震災復興への取り組みや新しい公共支援事業などで市民の力に注目が集まっていますが、これらの活動が継続して取り組まれるよう、また、形骸化してしまわないように、今こそ、^{わたしたちのちから}市民力が試されているのではないのでしょうか？

オープニングでは、実行委員の各カテゴリーや分科会に込めた思いを共有し、フォーラムのテーマについて問題提起を行います。

日時：2月9日(土) 9:00-9:45

定員：100名

対象：ボランティアフォーラムに参加するみなさん

クロージング全体会

話し合い

それぞれのカテゴリーや分科会で議論したことの報告を受け、参加者のみなさんがおもしろかったこと、発見したこと、伝えたいこと、明日からやろうと思ったこと、試されたことなどを、共有・発信します。

分科会での熱い思いをもって、直接かけつけてください！^{わたしたちのちから}「市民力」を活かすために話し合いましょう。

日時：2月10日(日) 16:30-18:00

定員：100名

出演：山崎美貴子(東京ボランティア・市民活動センター所長)他
対象：ボランティアフォーラムに参加したみなさん

交流会

「試される市民力」をテーマに開催してきた3日間のフォーラムの最後のプログラムです。

数々の出会いから、ともに学び、議論した仲間との交流を深めましょう。また、今後の活動のために、ネットワークを広げるチャンスです。

名刺交換はもちろん、案内やパンフレットの持ち込み大歓迎です。

日時：2月10日(日) 18:15-

定員：100名

対象：ボランティアフォーラムに参加したみなさん

*このプログラムは、フォーラム参加費(1,000円)の他に、別途500円(18歳未満は300円・飲食代)が必要となります。

企業&NPO&大学&ボランティアのつどい

報告
+
話し合い

～子どもたちのための支援ネットワークをつくらう！～

子どもたちを支援している施設・NPOから、子どもたちの状況やニーズについて報告していただきながら、企業、社員、大学生、地域の人たちがどのように協力できるのかについて話し合います。軽食つきですので、職場・学校等から直接かけつけてください！

日時：2月8日(金) 19:00-21:00

定員：60名

- 出演：①児童福祉施設の子どものために支援している団体
②ひとり親家庭の子どものために支援している団体
③外国にルーツをもつ子どもたちを支援している団体
④病気・障害のある子どもたちを支援している団体

対象：特に企業関係者、NPO関係者、大学関係者の方におすすめですが、どなたでも参加していただけます

講座形式：①団体からの報告、②交流と話し合い

その他：このプログラムはフォーラム参加費(1,000円)以外に、軽食費(500円)がかかります。

そうだったのか！
よくわかる中間支援組織

講義

パネル
ディスカッション

地域社会の課題解決を目指して、ボランティアや行政をつないだり、NPO 法人などの市民活動団体と地域のさまざまな団体、企業、市民活動に参加するための情報を収集発信する等によって、市民が支える活動を支えるための「中間支援」を行う組織が各地にあります。これからの市民社会をデザインする上で、地域に根差す中間支援組織がどんな役割をもつのか、可能性と重要性を確認するとともに、実際の中間支援組織の取り組み事例を紹介します。

日時：2月9日（土）10：00-12：30

定員：40名 出演：山岡義典さん（NPO法人日本NPOセンター顧問）、上田英司さん（NPO法人NICE）、日比生信義さん（調布市市民活動支援センター運営委員長）、ほか

対象：中間支援組織のスタッフ、市民活動団体のスタッフ、市民活動を支える中間支援組織について知りたい方など
※このプログラムは、入場無料です

視覚障害をもつ子どもたちの絵画展
「Peace」

～I feel as you feel, I am as me～

ペン先から流れる蜜蝋が凸状になり、手で触りながら絵がかけられる！友達の絵も指で「見る」ことができる！そんな視覚障がい者によるアート世界を大きく広げたユニークな道具「みつろうくん」を使った千葉県立千葉盲学校の絵画作品を展示します。

開発者と盲学校の美術指導教諭が体験をお手伝いしながら、教育現場での実際の利用などについてもお話します。ハンディの有無に関わらず、新しいアートの楽しみ方を見つけてください。

日時：2月8日（金）-10日（日）

協力：(有)安久工機、鈴木良文さん、ソーシャルアート・クリエイター
会場：東京ボランティア・市民活動センターロビー

OpenCafe つながり

このフォーラムにはたくさんの人とつながる機会が詰まっています。分科会以外にも、誰もが気軽に集い、交流できる場として、Cafeをオープンします。

分科会の後ももっと話したい、フォーラムでの出会いを大切にしたい。誰もがひといきついで、つながれる場です。

コーヒーを飲みながら、ご縁を深めましょう！

日時：2月9日（土）11：00-17：00

会場：東京ボランティア・市民活動センターロビー

今日から実践！中間支援のコツ

ゼミ発表
講評・質疑

～実践ゼミからの報告～

東京ボランティア・市民活動センター主催の「地域に根差す中間支援組織スタッフの支援力アップ塾」では、中間支援組織の「課題解決を目指す相談ケース検討」、「地域マネジメントの実践プラン立案」、「先進的な中間支援組織のヒミツを学ぶ」の3つの実践ゼミを開講しました。各ゼミ議論での気づきや発見、ゼミ後の現場での取り組みについて共有する事を目的に各ゼミから成果発表します。発表を受けて、分科会に参加された皆さんとの全体での質疑を行い、オープンゼミ方式で中間支援組織の更なる支援力アップのための取り組みについて議論を深めます。

日時：2月9日（土）13：30-17：00

定員：40名 出演：実践ゼミ受講者、坂本文武さん（立教大学）、菅野道生さん（岩手県立大学）、唐木理恵子さん（NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会）、山崎美貴子（東京ボランティア・市民活動センター所長）
対象：実践ゼミ受講生、中間支援組織スタッフ、市民活動団体のスタッフなど ※このプログラムは、入場無料です。

ふれあい満点市場

～NPO・NGOの作品展示販売～

通販やインターネットで色々なモノが買えるようになった時代。みなさんが買おうとしているモノは作り手の顔や想いが見えますか？

福祉作業所やボランティアグループ、海外協力の現場からサポートを必要とする人たちのために、また、必要とする人たち自ら作成した製品を展示販売します。

日時：2月9日（土）10：00-17：00

会場：飯田橋セントラルプラザ1階 区境ホール

協力：NPO法人VCAS、都立新宿山吹高校

*このプログラムは、入場無料です。時間内にいつでも来場できます。

「想いをかたちに」出会いの広場

～民間助成金相談～

ボランティア・市民活動団体にとって、活動の充実や発展のために助成金は重要な財源のひとつです。

しかし、助成金申請をしてもなかなか獲得することができないという声も聞かれます。一方、助成団体の方からは、様々な団体の話を伺うことで多様な活動の様子や地域の課題について把握したいという希望も聞かれます。申請する側、助成をする側が、出会い、ゆっくり話してみませんか？民間助成金の情報も展示しています。

日時：2月9日（土）、10日（日）

11：30-13：30

会場：東京ボランティア・市民活動センターロビー

定員：各日20団体

協力：東京都社会福祉協議会民間助成団体部会、ほか
民間助成団体役員のみなさん

市民社会をつくる ボランティアフォーラム TOKYO 2013

参加申込書 (FAX/郵送)

ふりがな お名前	所属	
〒 - ご住所		
E-mail		
TEL ()	FAX ()	
保育・介助・誘導等の希望 (いづれかに○)	1. あり (名) (保育・介助・誘導・その他) (その他の内容)	2. なし

お申し込み
問い合わせ
こちらまで

東京ボランティア・
市民活動センター
〒162-0823
東京都新宿区神楽河岸 1-1
セントラルプラザ10階
FAX:03-3235-0050
TEL:03-3235-1171
<http://www.tvac.or.jp>
ホームページからお申し込みできます。

参加ご希望のプログラム名に○印をご記入ください。

開催日	時間	分科会 番号	プログラム名	希望
8日(金) 夜間	19:00～21:00	1	カテゴリ「つながり」へプロローグ～ つながり Café ～ワールドカフェで話そう～	
	19:00～21:00	15	ソーシャルメディアで始める社会貢献～PDCA サイクルを回す Plan 編～	
	19:00～21:00	31	企業&NPO&大学&ボランティアのつどい～子どもたちのための支援ネットワークをつくろう!	
9日(土) 午前	9:00～9:45	28	オープニング全体会 試される市民力	
	10:00～12:30	16	学生が地域を変える!?～大学/大学生の力を生かした地域づくり	
	11:30～12:30	7	カテゴリ「生活・くらし」へプロローグ～ 「18歳の春」女子高校生ミンソセイに聞く	
	10:00～12:30	2	「つながり」を発見!～たまり場・居場所・“みんなの縁側”を考えよう～	
	10:00～12:00	23	NPOはサービス提供を超えて社会を変えられるのか?～委託時代のNPOのあり方を考える～	
	10:00～12:30	32	そうだったのか!よくわかる中間支援組織	
9日(土) 午後	15:00～20:00	17	震災学生ボランティア交流会～つなげよう!学生力～	
	13:30～16:00	24	共生社会をつくる～ボランティアとソーシャルインクルージョン～	
	14:00～16:30	3	私の子育てニみんな子育て	
	13:30～15:45	8	輝く暮らしのために一生活の「多重困難」を「豊かさに」変える市民力ーミンソセイ母子を迎えて	
	13:30～16:30	9	患者が先生～よりよい医療のコミュニケーションに向けて～	
9日(土) 夜間	13:30～17:00	33	今日から実践! 中間支援のコツ～実践ゼミからの報告～	
	17:00～19:00	4	「つながり」の“ちから”をお裾分け!～気仙沼からのメッセージ～	
	17:00～19:30	10	児童養護施設からの声～子どもたち、支援員、地域の人々、それぞれの「ものさし」～	
10日(日) 午前	16:30～19:30	11	多様化する社会における「子どもの学習」～貧困・外国籍・障がい・etc... ～	
	10:00～16:00	26	ボランティア活動が生み出す効果・意義を可視化する～災害から日常にボランティア活動をつなぐために～	
	10:00～12:00	18	NPOインターンシップ～若者の市民力を育む場として～	
	9:30～12:00	19	中学生の発信力	
	10:00～12:00	5	子どものつながる力～遊びを通して～	
10日(日) 午後	10:00～12:00	12	新しい働き方の形～働きながら憩う～	
	10:00～12:00	13	コミュニティガーデンづくり～仲間と共に楽しむ地域の庭～	
	13:00～16:00	20	働く場としてのNPO	
	13:00～16:00	21	高校生の発信力	
	13:00～16:00	22	ソーシャルメディアで始める社会貢献～PDCA サイクルを回す Check・Act 編～	
	13:00～16:00	14	カテゴリ「生活・くらし」へエピローグ～多様性を受け入れる豊かな地域づくり	
	13:30～16:00	6	見つけよう新しいつながり～地域で支える介護～	
13:00～16:00	27	地域で信頼され、活躍するための10ヶ条～個人・団体が輝くために～		
10日(日) 夜間	13:30～16:00	25	その時歴史を動かした!～日本におけるボランティアの歴史からボランティアズムを考える～	
	16:30～18:00	29	クロージング全体会	
	18:15～	30	交流会	

現代社会が抱える問題に取り組む「市民活動」の“今”を捉える市民社会をつくるボランティアフォーラム。第9回を迎えた今年、「試される市民力」をテーマに4つのカテゴリー「つながり」「生活・くらし」「若者の市民力」「ボランティア」でボランティアの“今”と“これから”を考えます。

市民社会をつくる
ボランティア
フォーラム
TOKYO 2013

東京ボランティア・市民活動センターとは
東京ボランティア・市民活動センターは、ボランティア・市民活動相談やNPOの設立、運営、会計相談、情報提供、研修、ネットワーキングに取り組んでいます。センターでは、会議室や印刷機の利用貸し出しを行っています。また、ちょっとした打ち合わせにお使いいただけるオープン・スペースもあります。どうぞお気軽にご利用ください。



1人 **1000** 円
※一度、お支払いいただければ、2月8日～10日の複数のプログラムにご参加いただけます。（当日払い。ただし、プログラムによって追加料金が必要な場合があります。）
※高校生以下の方または18歳未満の方の参加費は無料です。

ボランティア募集
開催期間中、保育、記録（写真撮影）などにご協力いただけるボランティアを募集します。詳しくは2月1日（金）までに当センターへお問い合わせください。
保育スペース
保育スペースを3歳以上に限り設ける予定です。保育の希望がある場合は1月25日（金）までに申込書にてお申し込みください。

次のプログラムは入場無料です。
・「今日から使える！地域に根差す中間支援組織」（2月9日（土）10：00～12：30）
・「こうだったのか！よくわかる中間支援組織」（2月9日（土）13：30～17：00）
・「ふれあい満点市場～NPO・NGOの作品展示販売～」（2月9日（土）10：00～17：00 飯田橋セントラルプラザ1階区境ホール）
・「OpenCafe つながり」（2月9日（土）11：00～17：00 東京ボランティア・市民活動センターロビー）
・「視覚障害をもつ子どもたちの絵画展～Peace」（2月8日～10日 終日東京ボランティア・市民活動センターロビー）
※プログラム「交流会」は、参加費1,000円に加えて別途追加料金500円（18歳未満は300円、軽食代）が必要です。

東京ボランティア・市民活動センター
ホームページ
<http://www.tvac.or.jp/>
からお申し込み下さい。
または、参加申込書（このページの裏）に必要事項をご記入の上FAXまたは郵送のいずれかの方法でお申し込みください。

なお、参加希望が多数の場合、ご希望のプログラムにご参加いただけない場合もありますのでご了承ください。
※プログラムによっては内容を変更する可能性があります。（その場合、申し込みをされた方へ事前にご連絡します。）
※個人情報は東京ボランティア・市民活動センターが適切に管理し、NPO・ボランティアに関する研修等のご案内に使用させていただきます。個人情報の取り扱いに関する方針はホームページをご覧ください。

飯田橋セントラルプラザ
○アクセス
・JR 総武線 飯田橋駅 西口改札右手
・地下鉄（有楽町線・南北線・東西線・大江戸線）
飯田橋駅 B2b出口
○総合受付：飯田橋セントラルプラザ10階

